

82 健診結果データの見方&活用勉強会

82 健診結果データの見方&活用勉強会

年度末も押し迫った3月26日、大阪府トラック総合会館にてOCHIS主催の『健診結果データの見方&活用勉強会』を開催しました。健診の意義、活用の重要性についてなどの概論と、OCHIS保健師による健診項目や数値の見方、病気の関連性、活用の具体例を説明するという無料勉強会でした。

■勉強会のきっかけ
健康起因事故が増える中、定期健康診断の事後フォローがなされていないことが、国交省のガイドマニュアルや行政指導のポイントとなっています。ズバリ、「健診後のフォローが事故防止対策の決め手」なのですが、この健診結果の見方、確かに一般の方には専門的で分かりにくいですね。さらにトラック事業者の場合は90%以上が中小企業ですから、なかなか手が回

りにきらないという現実を抱えています。「大切な従業員の健康管理に健診後のフォロー実施」ではあるのですが、残念ながら小規模事業所ほど、そのハードルは高いようです。したがって、ここをしっかりと、専門的にサポートできないかというのが今回の勉強会を企画したきっかけです。

■求められる実践的サポート
勉強会の案内は初回ということもあり、まず当法人でSAS検査をされている近畿地区の事業者のみとしましたが、嬉しいことに予約開始の即日に定員が埋まりました。そして当日はトラック、タクシーから、総務、人事、安全関係者らの役員、担当者までが自社の健診結果を持ち寄り集まってくれました。

この大きな反響の要因を、「すでに重要性は理解している。しかし、困っている」ためと、私は捉えています。そして今、業界全体として支援するべきサポートはこのようなソフト面の実践的サポートではないでしょうか。

アンケートでは、「大変よかったです」「参考になる」「自社でも使えそう」と参加者全員からお答えいただき、「勉強会を継続してほしい」「支店担当者にも受けさせたい」との意見をいただいています。

■健診結果データ化の重要性
勉強会の目玉として紹介したのが、健診結果のデータ化です。トラック協会実施の巡回によるバス健診の場合、また手書きが多く、医療機関による健診結果の数値基準のバラつきも気になります。これらをOCHIS基準で統一しデータ管理することにより、集計・分析・対策が鮮明に浮かび上がります。なお、睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査結果も付加情報として加えると、事故・健康リスクがさらに見えてきて、事故減少も大いに期待できます。



《全日本トラック協会・大阪府トラック協会 SAS検査受託機関》

NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)

理事 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>

す。(次回は5月14日号に掲載)